

## 指定管理者制度導入施設 モニタリング結果報告書

### 1 公の施設の概要について

施設の概要	名 称	あきる野市高齢者在宅サービスセンター 開戸センター
	所在地	あきる野市湊上322番地1
	所管課	健康福祉部高齢者支援課高齢者支援係（内線）2632
指定管理者	名 称	医療法人財団 暁
	所在地	あきる野市秋川6-5-1
	業務内容	1 管理運営に関する業務 （1）高齢者生きがい活動支援通所事業 （2）地域における高齢者福祉の拠点としての活動事業 （3）その他市長が特に認めた事業 2 施設、設備等の維持管理及び修繕に関する業務 （1）屋内・屋外（植木等のせん定を含む。）、付帯設備及び物品の保守、維持管理及び修繕に関すること。 （2）その他の施設等の管理に関すること
ホームページURL		<a href="http://www.akirudai-hp.or.jp/houzin/center.html">http://www.akirudai-hp.or.jp/houzin/center.html</a>
指 定 期 間		平成25年4月1日～平成30年3月31日

### 2 施設の利用状況等について

項 目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
開館等日数（日）	244	247	264	265	
延べ利用者数 通所（人）	3,332	2,962	3,119	3,118	
前年度比（人）		△370	157	△1	
前年度比（%）		88.9	105.3	100.0	
延べ利用者数 自主事業（人）	431	1,052	2,125	2,708	
前年度比（人）		621	1,073	583	
前年度比（%）		244.1	202.0	127.4	
利用料金 通所（千円）	3,083	2,518	2,719	2,726	
前年度比（千円）		△565	201	7	
前年度比（%）		81.7	108.0	100.3	
利用料金 合計 自主事業（千円）	328	661	1,250	1,597	
前年度比（千円）		333	589	347	
前年度比（%）		201.5	189.1	127.8	

### 3 施設の収支状況について

(単位：千円)

項目		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
収 入	指定管理料	13,606	13,160	13,160	13,307	
	利用料金収入	3,083	2,518	2,719	2,726	
	自主事業収入	328	661	1,250	1,597	
	収入計	17,017	16,339	17,129	17,629	
支 出	人件費	10,537	10,378	11,688	10,823	
	維持管理経費	4,406	4,181	4,236	4,457	
	自主事業関係経費	4,284	1,714	1,149	1,062	
	その他の支出	0	0	0	0	
	支出計	19,226	16,273	17,073	16,342	
収支(収入-支出)		△2,209	66	56	1,288	

### 4 施設の利用促進や市民サービスの向上の取組

利用者アンケート(実施時期や具体的な方法など)
通所事業では、毎利用日に様子観察を行い心身の状況を把握しているほか、満足度を調査したり要望を取り入れながら事業を行っています。げんき応援事業では、講座終了後にアンケートを実施する事で利用者のニーズに合った講座やサービスを取り入れながら「屈強なあきる野市民を創る」ために日々努力しています。
利用者から寄せられた意見・苦情及び対応状況
玄関周りの片付けを行った事で入り口が明るくなり、入りやすくなったと好評です。また自主事業の運営によりセンター全体に活気があるという意見もありました。通所事業の利用者からは昼食のメニューもバラエティが豊富で毎回楽しみです。という感想もいただきました。
利用促進のための独自事業、市民サービスの向上の取組など(取組の内容、効果など)
通所事業では、サロンの場を目指して利用者の方に自主性を持っていただき、活動も選んで自己選択していただいています。また、さまざまな場面でもたくさんの選択肢の準備をし、対応できるようにしています。利用者の方が笑顔でまた元気に過ごせるように職員が一丸となり利用者の声を大切にしています。自主事業では、利用者の声や要望を取り入れ、アンケートの実施やよりたくさんの市民の方に参加して頂けるように講座数を増やして対応しました。また、引き続き職場体験やインターシップの受け入れや夏!体験ボランティアの参加も行っています。

### 5 経費削減のための取組

具体的な取組内容
こまめに電気を消したり、室内の温度調整に気を配り、無駄をなくしています。通所事業では活動の内容を考えたりエコ手芸等を取り入れています。設備は出来るだけ職員でできることは行うように工夫し、維持管理費の削減を試みました。引き続き継続していきます。

### 6 指定管理者による総合評価

利用状況、収支状況などを踏まえて、業務改善につなげていくための総括・自己評価
通所事業、自主事業共に周知活動や広報掲示などで利用者数も増加傾向にあります。センターの役割や存在を周知していくと共に市民の皆様のニーズに合った活動内容、講座内容の見直し等の結果だと実感しています。次年度はさらに地域に密着し、市民の方に喜んでいただけるセンターを目指しセンターの運営を行っていきます。

7 所管課による総合評価（太枠にS～Bの3段階で評価を記入）

市民サービスの向上	
積極的な周知活動や高齢者のニーズに合った活動内容、常に講座内容の見直しをするなどの効果により、利用者数が増加傾向にあり評価できます。今後もセンターの役割や存在を周知するとともに、ボランティア等を積極的に受入れ、更に地域に密着したセンターの運営を期待しています。	
経費削減の取組	
積極的な節電やコピー用紙の裏面利用による経費削減に努めるとともに、リサイクル活動の意識向上に努めています。施設管理においても、法人全体で経費削減に取り組んでおり評価できます。	
業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価	
通所事業・自主事業ともに、高齢者のニーズに合った活動やボランティア等を積極的に受入れるなどさらに地域に密着したセンターとして多様な活動の提供に努めてください。今後も引き続き啓発・広報活動を積極的に実施してください。	
総合評価	<b>A</b>

※評価基準

- S：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等よりも優れた指定管理業務を行っている。
- A：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等に沿った指定管理業務を行っている。
- B：モニタリングチェックシートにおいて「要改善」の項目があり、協定書、事業計画書等で定める指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の必要がある。